

事務事業名	水洗化促進事業		会計	下水道	実施区分	継続		
			事業種別	政策	開始	7	終了	
H29作成課等名	下水道課	H29係等名	普及係		H28担当課等名	下水道課		
基本計画上の位置づけ	政策	4	暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり					
	施策	45	居住基盤の向上					
目的	対象(誰・何を)	下水道普及区域内で下水道に接続していない市民と事業所。			対象指標	指標名及び単位		28年度数値
	意図(どうい状態にするか)	・当市の公衆衛生の向上、あわせて公共用水域の水質保全 ・下水道へ接続をする				下水道普及区域内の戸数(戸) (公共・特環・農集排)	35216	
	向上させたい上位施策の成果指標	居住基盤の満足度						
目標	種別	指標名及び単位		27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度実績	備考(指標変更など)
	成果指標	接続率 %		91.4	91.5	92	91.6	
	定性目標							
事業概要	下水道集合処理区域で、下水道工事施工済み区域の下水道へ接続していない市民及び事業所に対し、広報や訪問等により水洗化の必要性を説明して、啓発折衝を行い下水道への接続を推進する。							
28年度事業内容	事業内容				名称		活動指標	
	1 下水道施工済み区域内で下水道へ未接続の世帯を促進専門員が訪問し、水洗化促進について説明を行なう。 2 下水道全職員が期間をきめて、下水道施行済み区域内の下水道に未接続の世帯を訪問し、水洗化促進について説明を行なう。 3 市の広報、マスコミ(FMいいいだ等)を利用した啓発、まちづくり委員会等に働きかけ、施設見学会などを行い、広く水洗化の普及を図る。 4 下水道施工済み区域内の未接続世帯を対象としたアンケート調査を行い、未加入世帯の水洗化促進を図る。				1 水洗化促進専門員訪問戸数 2 下水道課職員促進訪問戸数 3 その他PRの機会 4 アンケート調査		1 1,739 戸 2 224 戸 3 2 回 4 500 世帯	
事業コスト		27年度決算額	28年度予算額	28年度決算額	29年度繰越額	特定財源内訳、補足		
事業費計(千円)①		2,688	3,875	2,428	0	[28特定財源] (そ)使用料1,214千円 繰入金1,214千円		
国庫支出金								
県支出金								
起債								
その他		1,344	1,938	1,214		[27特定財源] (そ)使用料1,344千円 繰入金1,344千円		
一般財源		1,344	1,937	1,214				
人件費計(千円)②		14,680	14,680	14,680	0	[補足]28年度より企業会計方式へ移行したため、科目コード及び名称が変更となる。また、下記の「中事業名」は、「目名」と読み替える。		
正規職員所要時間		3,600	3,600	3,600				
臨時職員所要時間		1,680	1,680	1,680				
総事業費①+②		17,368	18,555	17,108	0			
事業内容・目標達成状況の振り返り		飯田市のFM放送や広報を利用した水洗化の啓発に取り組んだ。また、従来の促進専門員による戸別訪問に加え、下水道課、経営管理課等の職員による休日戸別訪問を行い、接続率の向上を図った。更に接続率の低い、龍江、上久堅、千代、川路、竜丘まちづくり委員会、山本地域づくり委員会に於いて水洗化促進のPRを行った。						
改革改善の考え方	①問題点	少子高齢化・人口減という社会情勢の変化や不安定な経済状況のため、下水道接続が計画通り進まない現状がある。						
	②改革提案	公共下水道・特定環境保全公共下水道区域内で下水道未接続家庭及び事業所に対し、広報や訪問等により水洗化の必要性を説明して啓発折衝を行い、下水道への接続を推進する。						